

# 木材ジャーナル 名古屋・せぶ

令和5年9月号 No.196

名古屋木材組合  
名古屋港木材産業協同組合

第74回全国労働衛生週間(10月1日~7日)

## 目指そうよ二刀流 ころろとからだの健康職場

昭和25年から毎年実施され今年で第74回を迎える全国労働衛生週間は、9月1日から30日までを準備期間とし、10月1日から7日まで全国一斉に実施されます。

労働者の健康をめぐる状況については、高齢化の進行により一般健康診断の有所見率が上昇を続けているほか、何らかの疾病を抱えながら働いている労働者が増加するとともに、女性の就業率が上昇し、働く女性の健康問題への対応も課題となっています。

全国における過労死等事案の労災認定件数は、令和4年度には904件となっており、引き続き過労死等を防止するためには、働き方改革の推進と相まって、長時間労働による健康障害の防止対策の推進が必要です。特に精神障害による労災認定件数は令和4年度には710件と過去最多となっており、メンタルヘルス対策をさらに強化していく必要があります。

また、化学物質による休業4日以上労働災害は、450件程度で推移し、特定化学物質障害予防規則等の特別規則の規制の対象となっていない物質を起因とするものが全体の8割を占めています。また、化学物質等による重大な遅発性の職業疾病も後を絶ちません。

このため厚生労働省では、従来、特別規則の対象となっていない全ての危険・有害な物質への対策を強化するため、事業者が自ら行ったリスクアセスメントの結果に基づき、ばく露防止のために講ずべき措置を適切に実施する制度を導入しました。この仕組みを実効あるものとするため、ばく露の上限となる濃度基準値の設定、危険性・有害性に関する情報伝達の仕組みの整備拡充を行うため、所要の法令改正を順次行っているところであります。

また、職業がんの労災補償の新規支給決定者は、石綿による中皮腫・肺がんを中心に年間約1,000人にも及ぶところ、石綿の製造・使用等が禁止される前に石綿含有建材を用いて建設された建築物が今なお多数現存しています。その解体工事が2030年頃をピークとして増加が見込まれる中、解体・改修前に義務付けられている石綿の有無に関する事前調査や石綿の発散防止措置が適切に講じられていない事例が散見されたことを踏まえ、一定の建築物や工作物などの解体・改修工事については、資格者による事前調査や、石綿事前調査結果報告システムを用いた報告の義務化など、石綿によるばく露防止対策の強化を進めています。

各事業場におかれましても全国労働衛生週間の実施について周知いただくとともに、これを契機として事業場における自主的な労働衛生管理活動の定着に向けて積極的な取り組みをお願いします。

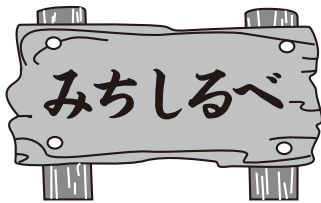
### 実施者の実施事項

労働衛生水準のより一層の向上及び労働衛生意識の高揚を図るとともに、自主的な労働衛生管理活動の定着を目指して、各事業場においては、事業者及び労働者が連携・協力しつつ、次の事項を実施する。

### 全国労働衛生週間に実施する事項

- ア 事業者又は総括安全衛生管理者による職場巡視
- イ 労働衛生旗の掲揚及びスローガン等の掲示
- ウ 労働衛生に関する優良職場、功績者等の表彰
- エ 有害物の漏えい事故、酸素欠乏症等による事故等緊急時の災害を想定した実地訓練等の実施
- オ 労働衛生に関する講習会・見学会等の開催、作文・写真・標語等の掲示、その他労働衛生の意識高揚のための行事等の実施

“いま、木に本気” ぐらしに活かそう木の良さを



## 価格決定のメカニズム 需要と供給

名古屋港木材産業協同組合  
理事長 服部 伸一

### 【木材価格の現状】

ウッドショックの終息以来下がり続けてきた木材価格は令和5年後半になっても依然として上昇せず「安過ぎる木材の時代」に戻っています。業界は人件費や光熱費・副資材等のコストアップ要因を価格転嫁できず苦しんでいます。

市場経済において価格は需要と供給の原理を通して決定されます。

木材においても同じで需要>供給の関係が成立すると、価格は高騰し、逆に需要<供給の関係になると木材の価格は下落します。

「ウッドショック」は木材の供給が極度に縮小し、価格が急騰したということが要因であり需要基盤が根本的に強まったわけではありませんでした。

そして現在、住宅受注の落ち込みがより顕著になり木材の出荷量はなかなか回復しません。

### 【需要について】

需要(特に内需)に影響を与える最も重要なファクターは人口で、住宅着工数については人口減少に極めて深刻な影響を受けます。他業種のグローバル企業は、人口減少が続く日本国内より成長性の高い海外マーケットをターゲットとして売上を維持拡大しています。

### 【供給について】

経済学者アダム・スミスは著書「国富論」の中で「水」は人々にとって必要性が高いが世の中に溢れており、一方、「ダイヤモンド」は使用価値は低い希少性がゆえに価格が高い」と述べています。

伐採期を迎えている日本国内の森林蓄積量は増えています。植林された木材は循環資源でありダイヤモンドのような鉱物資源ではありません。海外からも多くの植林木が製品化され輸入されています。ある国で供給がタイトになれば別の国の資源がそれを補います。また、下級材を有効利用できる集成材やLVLなどのエンジニアリングウッドも無垢材の代替となり供給が膨らみやすい状況となっています。木材には決して希少性はありません。

### 【価格の安定について】

木材は稀少ではありませんが、長い年月をかけて育てられた価値ある資源で「価格が安すぎる」ことは良くないと考えています。私は「ウッドショック」のような極度の供給不足は例外的な事態で起こりにくいと思っていますが、逆に供給過剰は起こりやすく、ちょっと油断すると木材は溢れてしまい、本来の価値が失われてしまいます。

有益な資源である木材について「過剰在庫⇒処分売り」の悪循環は繰り返したくないものです。商社、メーカー、流通、それぞれの企業が、絶えず自社における今後の必要数量を実需ベースで正しく把握し、供給サイドにおいて量の適正化を図ることが重要であると考えます。

## 恭子のワーキングライフ

### “ つながり ”

皆様 ご無沙汰いたしております、前広報副委員長の稲田恭子です。今回は名古屋木材組合 広報委員会OGとして、コラム「恭子のワーキングライフ」の投稿をさせていただきます。

初めに、令和5年3月号“出会いに感謝”をご覧いただいた木材業界の多くの方々から、心温まるお手紙や労いのコメントをお寄せいただき、嬉しくて何度も拝読させていただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

また、名古屋木材組合 西垣洋一組合長と川村寿男広報委員長のお取り計らいで、広報委員会主催の送別会を開催していただきました。振り返ればコロナ禍の3年間は主にメールでの編集校正作業が続き、広報委員メンバーと顔を合わせる機会が無いままに過ぎて参りました。

送別会当日は、川村寿男広報委員長をはじめ各企業の広報委員の方々、林経新聞社 橋爪良和社長が顔を揃え、サプライズゲスト（事務局のお声がけによる）で「恭子のワーキングライフ」生みの親である伊藤勝（85歳）元事務局長と大平剛士前広報委員長が会場に駆け付けて下さり、驚きと共にとっても感激しました。広報委員としての25年間の感謝の思いをお話した後、同席者お一人ずつから印象に残るエピソードトークをお聞きして、改めて名古屋木材組合 広報委員会や関係者との“つながり”を強く感じました。

さて、近頃「その後日常生活に変化はありますか？何をして過ごしていますか？」との質問を受ける機会が多くあります。丸美産業(株)退職後は、社内女性委員会（PIA委員会）メンバー達が労いの食事会を開催してくれたり、44年前の同期入社者と16年ぶりに再会し旧交を温めたり…などと、丸美産業(株)を介した“つながり”が密接になっている状況に変化しています。一方、今まで疎遠だった友人達から食事や遊びに誘われ出掛ける機会が増えて、気の合う仲間との“つながり”を実感しています。そして趣味の書道では「公益社団法人中部日本書道会」（中日書道展などを主催）で師匠の推薦を受けて委員となり、書道界との“つながり”で活動範囲を広げております。以上が近況報告となります。

猛暑が続きます、くれぐれもご自愛くださいませ。

## 合縁木縁

### 「 氣心腹口命 」

#### 【氣心腹口命】

（氣は長く 心は丸く 腹立てず 口慎めば 命長かれ）という禅語をご存じでしょうか？

私が幼少期から祖父の家に行くと壁に張り出してあり、目にしていました。

祖父は1926年1月に三重県の飯南という農家の次男として生まれました。満州事変や2.26事件などの学校の教科書で習うような出来事を経験し、10代後半での太平洋戦争の時期では、名古屋の三菱発動機の工場で零戦のエンジンを製作する工場に働いていたようです。

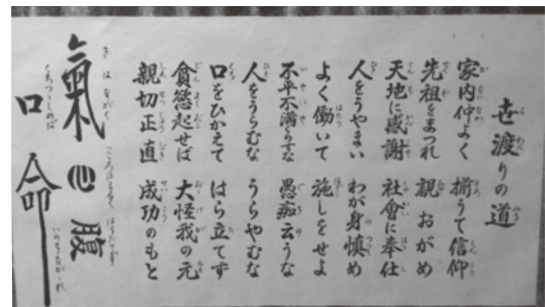
働いていた時には、陸軍大将の東條英機が視察に来たこともあったとよく話してくれました。名古屋の空襲で、焼夷弾の雨から逃げる際に一緒に逃げた友人とはぐれた話や、その後、静岡県の陸軍師団に入隊した際にはB29の機銃掃射を受けたが何とか生き延び、地元に戻り4人の子供に恵まれ、お茶づくり・酪農・養蚕業を経て、会社を興して工業用手袋とスノーパックを製造していました。

祖父は真面目で頑固な性格で、趣味といえば自分で運転していく旅行が何よりも楽しいとのことで、私も幼少期は寺社仏閣を中心に旅行に連れて行ってもらったのがとてもいい思い出です。

私が20歳頃に会社をたたみましたが、祖父がよく私に話してくれたのは、『いつもおかげ様の気持ちをもって接しなさい』という言葉でした。相手を敬い、尊重し、相手の立場になって物事を考えることで【縁】ができ、大きな【円】ができてくる。というものでした。この言葉と【氣は長く 心は丸く 腹立てず 口慎めば 命長かれ】という教えを祖父から貰い、社会に出て約20年が経とうとしています。

祖父は昨年96歳で他界し、一周忌を終えました。祖父の軌跡を追いかけてながら、今後も仕事に励みたいと思いました。

次回は、株式会社興亜通商 山田 ゆき子さんをお願いします。



木の日の事業 名古屋木材青壮年会

# 親子木工教室開催

ぜひご家族で  
ご参加ください!

日時：令和5年10月7日(土)・8日(日) 10:00~16:00  
開催場所：戸田川緑地 農業科学館北側、フラワーセンター前の広場  
参加費：一律800円(税込) ※木工教室のプランターも木工キットも同額



### 【実施企画】

- 時間を区切った木工教室 800円
  - ①10:30~11:30 ②14:00~15:00
  - の1日2回教室形式の「ウッドプランター作成教室」を開催
- 木工キット販売と組み立て体験 一律800円  
(時間を区切った形式では行わず、随時受付)
  - ①小物入れ
  - ②スライド本立て
  - ③背付き椅子
- 体験イベント(無料)
  - ①小さな家 ②丸太切り ③ダヴィンチの橋!?



主催及び問い合わせ先  
名古屋木材青壮年会 TEL.(052) 331-9386

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

## 「空き家」対策にご協力を

長期間不在の住宅等は、不審者の侵入又は滞留により、その周辺地域における治安の悪化を招きます。建物の管理者は建物の修繕、植栽の剪定等をこまめに行い、さらに「地域の目」による声掛けで、不審者が侵入しにくい地域を目指しましょう。

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

### ◆ 広告コーナー

**集塵装置の省電力・安全** ご提案します!!  
**木質バイオマスの利活用**

■バグフィルター集塵機	■破砕機 ウッドグラインダー	■木質ペレット製造装置
■サイクロン集塵機	■粉砕機 ファンシュレッター	■ブリケット
■定量排出装置	■火花探知器・安全装置	■送排風機
■トラック積載装置	■異物除去器	■ダクト部品

**INOUE** 井上電設株式会社

快適な環境づくりに取り組む  
TEL 052-322-5271 <https://www.inoue-d.co.jp>

人と未来のために高い技術を誇るプレカットシステムのトップメーカー

**MIYAGAWA**®

**宮川工機株式会社**

〒441-8019 豊橋市花田町字中ノ坪53  
TEL 0532-31-1251 FAX 0532-34-1956  
URL <https://www.miyagawakoki.co.jp/>

発行 名古屋木材組合  
発行者 西垣洋一  
〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10  
TEL <052> 331-9386  
FAX <052> 322-3376  
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合  
発行者 服部伸一  
〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74  
TEL <0567> 57-2017  
FAX <0567> 57-2018  
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会